

3つのだいじ

- ❖ やさしさはだいじ
- ❖ まなびはだいじ
- ❖ がんばりはだいじ



ながる



なげる



いえがお

北九州市立筒井小学校  
文責 校長 山口典子

### 筒井小 感染症対策の合言葉 “マスクの着用・しっかり手洗い・常時換気・友達との間隔は1m以上あげよう”

本市では幼児児童生徒の感染拡大が見られ、学級閉鎖等の措置をとる学校が多くあります。

現在、本校は閉鎖等の措置の学級はありませんが、子ども達の健康や学習を守り、みんなが揃って卒業でき、学年を修了できるよう、今一度気を引き締めて、感染防止対策を行っていきます。放課後や休日の過方、不要不急の外出を避けていただく等、ご家庭におかれましてもご協力の程、よろしく願いいたします。

感染対策を行いながらの2月の子ども達の様子をお伝えします。



## 命の授業がありました。

5年生が看護師さんをお招きして、「命の授業」を行いました。理科の授業「生命のつながり」の導入でもありましたが、命の始まり、命の成長（お腹の中の様子等）、命が通る道、出産や生まれてくることの奇跡等、「命」について自分事としてとらえることができたり、まわりの人の命や思いを大切にしたいと考えたりすることにつながったようです。



元気に生きてこられたからもっと自分を大切にしたいです。

## 避難訓練 地震が発生し津波警報がでた想定で行いました。



今回はあいにくの天候で避難経路の確認となりましたが、子ども達は、担任の先生方の指示をよく聞き、静かに短時間で確認することができました。机の下にもぐったり避難時にも洋服のフードで頭を守ったりしました。また、津波警報が出た場合は、とにかく、どこにいても高いところへ避難することが大切で、皇后崎公園にみんなで避難することもあると話しました。感染症対策だけでなく様々な形で、「自分の命は自分で守る」「声かけあって冷静に」と、万が一の際に対応できる力をつけていきたいと考えています。

## 代表委員会や委員会活動をリモートで行いました。



まん延防止措置が出され、学級や学年をまたぐ活動ができない中、6年生を中心にリモートでの活動をしようと声が上がりました。代表委員会では3年生も参加し、話し合いがどのようになされているのか代表者だけでなく全員で見ることができました。

委員会活動では6年生から5年生への引継ぎ式が行われ、継続して欲しい筒井小の伝統やコロナ禍でも工夫して新しい形の活動を進めて、筒井小学校をまとめ、引っ張って欲しいということをお伝えしました。各委員会だけでなく、全部の委員会の活動を知り、6年生の思いに触れることができ、有意義な時間になりました。

